

地域の行事や珍しい出来事など町のおまじまな話題をお伝えします！
皆さんの身近な情報もお寄せください。
役場総務政策課庶務行政室 ☎54・3111



12.1 sat

受賞おめでとう！

全国小・中学校作文コンクール 読売新聞社賞 細矢芽くん

吉岡中学校2年生の細矢芽くんが、「第57回全国小・中学校作文コンクール」の中央審査で、見事「読売新聞社賞」に輝きました。応募総数は3万6,674編。昨年、双子の兄の萌くんが同賞を受賞したことをきっかけに、「自分の力を試してみたい」と応募しました。

作文は、作家 俵菰子さんの戦争体験に関するコラムを題材にしており、群馬県審査で最優秀賞を受賞した際には、富士見村の俵菰子美術館に招かれ、俵さんから直接戦争体験を聞くことができました。中

央審査の結果が出るまでは不安な気持ちでいっぱいでしたが、受賞が決まると兄の萌くんと二人で大喜びしたそうです。

芽くんは、作品の中で「俵さんをはじめとした戦争を経験した人たちが、必死の思いで語ってくれる言葉を「念仏」にしないためにも、僕たちは生きていること、「命」の温かさをもっと感じなくてはいけないのだと思う。」と述べています。芽くんの言葉は、同世代をはじめ多くの人達の心に響きました。

1.13 sun

消防団出初式

消防団活動をスタート

吉岡町消防団出初式が八幡山運動公園で挙行されました。冷たい北風が吹きすさぶなか、分列行進や放水訓練が行われ、気合のこもった新年のスタートとなりました。

永年勤続功労章表彰【25年】第5分団 佐藤浩久【20年】第1分団 森田和雄、第3分団 高野浩明、中島繁、第4分団 笹沢敦【15年】第2分団 森田康紀、飯塚博之、第4分団 吉澤充雄、中澤早人、高橋淳巳【10年】第1分団 斎木健志、第2分団 柳岡晋、第3分団 中島祐治、第4分団 荒巻貴志、第5分団 茂木等【5年】第1分団 小林功幸、第2分団 木暮直人、第3分団 高野哲成、大塚晴彦、田中秀幸、第4分団 吉澤敏則、萩原儀文、大澤敦紀





12.5_{wed}、7_{fri}
ご覧ください

全国都市緑化ぐんまフェア

3月29日から6月8日の会期で、第25回全国都市緑化ぐんまフェアが開催されます。前橋・高崎を総合会場とし、吉岡町は緑地運動公園内の天神東公園をサテライト会場として参加します。

これに伴い、明治小学校・駒寄小学校で、吉岡中学校横手先生のご協力をいただき、全クラスによるパンジーの苗とチューリップの球根の植込を行いました。フェアの開催期間中、児童の皆さんが育てた花が会場を彩る予定です。ぜひ、お立ち寄りください。



12.11_{tue}

ファームドウから町へ寄付

あたたかい心ありがとう

ファームドウ株式会社(代表取締役 岩井雅之氏)より、町へ10万円の寄付を頂きました。同社からは、町に支店をオープンして以来、毎年寄付を頂いています。吉岡店の北爪店長は、「店舗が営業できるのは地域の皆さんのおかげ。少しでも社会貢献ができたらと企業で取り組んでいます」と地域に対する感謝の言葉とともに寄付をしていただきました。

12.15_{sat}

交通安全会・防犯委員会

年末に啓発活動

町交通安全会と防犯委員会では、冬の県民交通安全運動・県民防犯の日(毎月16日)にあわせて、交通事故や犯罪の撲滅をうたえる啓発活動を行いました。

事故や犯罪が多くなる年末を前に、渋川警察署や吉岡町交番からも職員が参加し、信号待ちの車一台一台に声をかけ、500個の啓発資料を配りました。



12.26_{wed}~30_{sun}

吉岡町消防団

歳末夜警を実施

町消防団では、火災や犯罪が発生しやすい年末に歳末夜警を行いました。初日となった26日には、激励巡視として町長、議長、議会総務委員長、区長会長、正副団長、広域南分署長、町民生活課長が南分署と町内各分団詰所を訪問しました。石関町長は、警戒を続ける団員に「町民が明るい正月が迎えられるように、また団員が健康に留意し歳末警戒を遂行するように」と激励しました。団員は交代で各分団の詰所に深夜まで詰め、担当地区を巡回し警戒を行いました。